

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和02年08月17日

計画の名称	安全・安心で快適な緑あふれる公園整備の推進（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	倉敷市												
計画の目標	倉敷市の都市公園は半数近くが建設後30年以上経過していることから、公園施設の老朽化が進んでいるのが現状である。 倉敷市都市公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の更新を行い老朽化などに起因する事故を未然に防ぎ、より安全・安心で快適に利用できる公園を維持し、将来における維持管理費の縮減や平準化を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	352	A	352	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	H31末	H33末
1	当計画期間内において倉敷市公園施設長寿命化計画に基づき対象となる公園の改築又は更新を実施した公園施設（遊具）の割合を0%（H29当初）から100%（H33末）に増加 改築又は更新を実施した公園施設（遊具）の割合 改築又は更新の実施済み公園施設数（遊具）／改築又は更新の必要な公園施設数（遊具）	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
倉敷市公園施設長寿命化計画に基づき実施される要素事業：A-1												

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制

倉敷市公園緑地課において実施

中間評価の実施時期

令和2年3月

公表の方法

市ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

遊具の更新により、老朽化とともにハザードが改善された。
「都市公園における遊具の安全確保に関する方針」に適合し、安全性が確保された。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

更新遊具の選定において地域のニーズを反映することにより、公園への愛着や魅力が向上した。

○特記事項（今後の方針等）

地域のニーズを反映しながら、引き続き遊具の更新を進める。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	整備計画に対する更新を実施した遊具の割合	
	中間 目標値	50%
	中間 実績値	68%